

いわき農林水産ニュース

(ごちそう ふくしま絆づくり運動ニュース)

5月号 発行 平成25年 5月 31日



〈東日本大震災関連〉



いわき地方の農林畜産物 モニタリング調査結果

福島県が行ったいわき地方の4月の農林畜産物の放射性物質モニタリング調査結果をお知らせします。

調査した12品目31検体のうち、10品目27検体は、検査機器の検出限界値以下でした。基準値内で検出のあった2品目はくさそてつ(ごごみ。野生のものに限る。)、もみじがさ(しどけ。野生のものに限る。)で、基準値を超えたものはありませんでした。品目としては、牛肉、原乳、菌床しいたけ(施設)、菌床なめこ(施設)、たらのめ、豚肉、アスパラガス、クキタチナ、キュウリ(施設)、ミニトマト(施設)の検体すべてにおいて検出が認められませんでした。5月10日現在、いわき地方産の農林畜産物で出荷が制限されているのは、ユズ、くり、たけのこ、ぜんまい、たらのめ(野生のものに限る。)わらび、こしあぶら、野生きのこ、原木なめこ(露地栽培)の9品目となっています。

また、平成24年産の米は、全袋検査を実施しており、4月末までの検査点数518,851点のうち99.7%の517,317点が測定機器の測定下限値未満、1,533点が基準値内で検出が確認されました。もち米1点が基準値を超過しましたが、管理されており市場には出回っておりません。調査結果は、福島県のホームページ「ふくしま新発売。」の農林水産物モニタリング情報で、24年産米については「ふくしまの恵み安全対策協議会」で簡単に検索できますので、結果をご確認ください。

(表1) 農林畜産物の調査結果(4月)

放射性セシウムが検出されなかった品目と検体数	放射性セシウムが検出された品目と検体数		計
	基準値内で検出された品目と検体数	基準値を超過した品目と検体数	
10品目 27検体	2品目 4検体	0品目 0検体	12品目 31検体

(表2) 1点も放射性セシウムが検出されなかった品目と検体数

牛肉 14	原乳 4	菌床しいたけ(施設) 2
菌床なめこ(施設) 1	たらのめ 1	豚肉 1
アスパラガス 1	クキタチナ 1	
キュウリ(施設) 1	ミニトマト(施設) 1	

○福島県が行ったいわき地方の5月の農林畜産物の放射性物質モニタリング調査の結果、**さんしょう(野生のものに限る。)**に基準値を超える放射性物質が検出されたため出荷自粛となりましたのでお知らせします。

〈一般情報〉



平成24年度いわき市農林業 賞祝賀会が行われました

平成24年度いわき市農林業賞を受賞された鶴沼源栄氏と木戸忠重氏の受賞祝賀会が、それぞれ3月26日(火)と4月12日(金)に関係者等大勢の方が出席し、大変盛況に行われました。

鶴沼氏は、長年にわたりいわき市夏井地区においていちごを栽培してきました。またJAいわき市いちご部会長として、産地の収量及び品質の向上に努め、いわき産いちごの発展に大きく寄与されました。さらに、自身においても、福島県オリジナル品種「ふくはる香」をいち早く導入するとともに、将来的に予測される生産者の高齢化に先んじて自動換気システムの導入を図るなど、産地に多大な貢献をしてきたことが今回の受賞へ繋がりました。

木戸氏は、いわき市南部においていち早く稲作作業受託に取り組んでおり、また、環境にやさしい米づくりを重視したいわき産米を生産しています。加えて、木戸氏は福島県オリジナル品種「天のつぶ」等の作付けや米の二次加工、施設での菌床しいたけの生産など、多岐にわたった活動を家族一丸となって行っており、今回の受賞に繋がりました。

長男である安道氏もまた、農産物のインターネットを通じた新たな販路の拡大をするなど、次代の担い手として大きく注目を集めており、いわき市の農業の牽引役として期待されています。



駐日外交団が農産物の安全性への取組み等を視察しました

4月22日（月）、中東・アフリカ地域の駐日外交団10名と阿部俊子外務大臣政務官が来県し、農林水産物の安全性への取組みや東日本大震災からの復興状況等を視察しました。

当日、一行はアクアマリンふくしま、(有)とまとランドいわき及び郡山市の福島県農業総合センターを回り、途中、道の駅よつくら港で昼食を取る際、漁業関係者から漁港等の被災状況や試験操業についての説明を受けました。

(有)とまとランドいわきでは、事業所内で栽培されたトマトやそのトマトで作ったジュースの試食・試飲をしながら懇談や質疑応答が行われ、外交団からはトマトの品種名、栽培に使用する水、肥料等についての質問があり、元木専務取締役から丁寧な回答と震災から復旧した栽培施設や安全性の確保の取組み等についての説明がありました。また、参加者のみなさんからは「美味しい。」「こんな甘いトマトは初めて食べた。」などの声が多数聞かれました。その後、栽培温室や太陽光発電施設を視察しましたが、大規模な施設やトマト栽培が自動制御で管理されているところを実際に目の当たりにして驚くと同時に非常に関心を持った様子でした。

今回の一連の視察は、海外に向けて福島県の復旧・復興と農林水産物の安全・安心の情報発信、PRに大きく貢献したことと思います。

なお、今回の視察結果は、外務省のホームページにも掲載され、また(有)とまとランドいわきで撮影された参加者のみなさんの応援メッセージ動画も「YouTube」にアップロードされ、どなたでもご覧になれます。ぜひ、駐日外交団の方々の心温まる熱いメッセージを1度ご覧ください。

（「阿部外務大臣政務官 福島県視察」で検索し、外務省HP上から「YouTube」動画がご覧いただけます。）



（元木専務と、トマトを試食する視察団）



（栽培温室で説明を受ける視察団）



企業の森林づくり協定締結式が行われました

4月24日（水）、東日本大震災の津波により甚大な被害を受けたいわき市の海岸林の再生に向けて、株式会社みずほフィナンシャルグループ（以下「みずほFG」）、下大越共有山林組合、いわき市及び福島県の4者による「企業の森林づくり協定締結式」が福島市で行われました。

締結式では、協定書への調印後、各協定締結者からそれぞれあいさつがあり、みずほFGの佐藤社長は、「海岸防災林再生の取り組みを通じて、長期にわたり福島県の震災復興支援に協力していきたい。」と熱く語っていました。

みずほFGでは、平成26年度から社内ボランティアを募り、いわき市平下大越地区の海岸約2.3haにおいて、共有山林組合・市・県の協力を得ながら、クロマツ苗木の植栽と下刈等の作業を行うこととしています。

※ 「企業の森林づくり」は、社会貢献活動に関心が高い企業等に対して、森林づくり活動に取り組んでもらうことを目的に福島県が平成20年度から活動を支援しているもので、今回で県内8箇所目となり、海岸防災林の再生を目的としたものは初めてとなります。



（締結式の様子）



サンシャイントマト出荷協議会が開かれました

4月24日（水）、JAいわき市飯野支店において、平成24年度サンシャイントマト出荷協議会の総会が開催されました。

サンシャイントマト協議会は、いわき市内の大型水耕栽培を行っている農業生産人によって組織され、市場におけるサンシャイントマトの知名度も年々高まりつつあります。また、放射性セシウムに関する自主基準を設けており、安全・安心な農産物の生産を第一としています。

今回の総会では、今年度の販売対策や風評被害の払拭について重点的に話し合われました。

サンシャイントマト協議会では、消費者の目線に立った商品開発が行われており、今後のサンシャイントマトの発展につながるものと期待されます。



平木材市場創立55周年記念市が開催されました

4月25日（木）、内郷綴町にある株式会社平木材市場の創立55周年の記念式典と記念市が開催されました。式典には林業・木材関係者を中心に約50名が出席し、齊藤公男社長からは「平木材市場は昭和33年に誕生し、今年で55周年を迎えた。復興のために木材の安定供給に努め、地域経済の振興や環境保全にも貢献していきたい。」とあいさつがあり、その後、優秀・優良買方と荷主への表彰が行われました。

記念市には、昨年より400㎡も多い約2,500㎡の素材や製材品が出展され、場内には、競りに参加する買方と市場職員の賑やかな声が飛び交い、活発な取引が行われました。



（競り売りの様子）



「緑の募金」の街頭募金が実施されました

4月27日（土）、いわき市緑化推進委員会の主催による平成25年度「緑の募金」街頭募金が、いわき・ら・ら・ミュウ及びアクアマリンパークで行われました。

この街頭募金は、毎年4月1日～5月31日の緑の募金運動推進期間に実施されているもので、今年は「今植えた木々が未来へ夢運ぶ」をテーマに、いわき市立藤原小学校緑の少年団やサンシャインガイドいわき、磐城森林管理署、いわき市森林組合、（社）福島県造園建設業協会、県いわき農林事務所が参加しました。

募金活動では、会場周辺の来場者等に対して、緑の少年団の子供達が「緑の募金に協力をお願いします。」と大きな声で募金への協力を呼びかけました。来場者や地元商店街の方々から多くの募金が寄せられ、協力者には緑の羽根のほかマリーゴールドやペゴニアなどの花の苗やレンギョウの苗木が配られました。

集められた募金は、公共施設や学校等の緑化活動に使用されます。今後も緑の募金にご協力をよろしくお願いいたします。



（募金活動の様子）



平成25年春の叙勲の栄誉

5月14日（火）、根本藏 前いわき森林組合組合長（今年2月に勇退）と鈴木康之 千軒平溜池土地改良区理事長に対し、平成25年春の叙勲（根本氏は旭日双光章、鈴木氏は旭日単光章）の勲章伝達式及び皇居での拝謁が行われました。

お二人は、農林業政策全般に精通した豊富な識見と経験を生かして多年にわたり指導的立場で御活躍され、地域農林業の振興に大いに寄与した功績が認められて、今回の受章となりました。

根本前組合長は、農林業に従事するとともに平成4年にいわき市森林組合理事となり、同10年から副組合長、同16年から今年2月までは組合長を務められました。県森林組合連合会では平成18年から副会長を務められており今年5月末で退かれる予定です。原発事故以降、林業家の補償を求め東電との交渉などに御尽力されました。

根本氏は、「受章したのは関係者のみなさんの指導、協力のおかげ。家族に感謝したい。」と話され、また、職務を託す後進に「震災に負けず頑張ってもらいたい。」とエールを送られています。

土地改良区の鈴木理事長は、家業の農業に従事するとともに平成4年に土地改良区の理事となり同8年から理事長を務められました。この間、長友、大野、大久地区等の組合員をまとめてほ場整備事業を実施したほか、千軒平溜池の管理を行うなど地域の農業振興に御尽力されています。

鈴木氏は、「今後の励みに叙勲を頂いたと受け止めている。今後もみんなのためになるほ場整備に努めていきたい。」と抱負を語っておられます。

お二人には、今後も地域農林業のますますの発展のため、御指導・御助言をいただきたいと思えます。



(左：根本（前）組合長、 右：鈴木理事長)



食彩ふくしま地産地消推進店のメニューの紹介

地産地消推進日（6月は8日(土)）に合わせ、いわき農林事務所に情報提供のあった食彩ふくしま地産地消推進店のメニューを紹介しますので、ぜひご賞味ください。
なお、内容は変更される場合がありますのでご了承ください。

◇ いわき食彩館株式会社 スカイストア（平字一丁目）

1 推進日のメニュー

(1) 地産地消メニュー：①アスパラガスサラダ ②アスパラガスの肉巻き

(2) 地産地消メニュー：①半生トマトソースの厚揚げ

②色取りトマトとオリーブサラダ

説明：季節のおいしさが詰まった県産アスパラガス、いわき産トマトを使用

実施日：6月8日（土）

2 推進日を含む毎日のメニュー

地産地消メニュー：①日替わり弁当 ②惣菜

説明：いわき、ふくしまの食材をふんだんに活かした料理を楽しんでください。



いわき農林事務所からのお知らせ

○ふくしまの最新情報を「ふくしま 新発売。」に掲載していますので
どうぞご利用ください。

<http://www.new-fukushima.jp/index.html>

- 1 「がんばろう ふくしま応援店！」一覧
- 2 イベント情報
- 3 農林水産物モニタリング情報

(1) モニタリング情報検索

(2) 出荷制限等一覧表

「東日本大震災」
及び「原発事故」からの
復興のために！



◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地

(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

いわき農林水産ニュース

